

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	商業	コード	作成者	役職	商工観光課長
		04-02-02	氏名	横山雅一	
			電話	64-1832	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目(基本施策)	起業と創造が支えるまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	商業の活性化を図ることにより、東備地域の拠点都市としての発展を図り、市民生活を豊かにしていくことを目的とする。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	顧客ニーズの多様化や後継者不足、さらには郊外型大型店の進出による商業域の分散や競争の激化が大きな要因と考えられます。特に、消費者の自家用車利用が定着したため、駐車場不足とアクセス道路の円滑性に欠ける従来型の商店街は、来客頻度が低下しており、これが商店街組織活動の低下につながっています。こうしたことから、地域の商店街は衰退が著しく、閉店や空き店舗が目立ち地域社会の形成にも悪影響を及ぼしています。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力的な商店街の創出</li> <li>商店の体質の強化</li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> </ul>	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高-低)	細事業一覧表	事業 分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他	
				H17		H18		H19			
				直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費		
1 商業振興事業	C	岡山県都市商業ゼミナール負担金	ソフト事業	86		93					
		岡山県経済交流協会会費	ソフト事業	50	4,158	50	3,152				
		商業振興対策補助事業	ソフト事業	0		0					
2 地域振興活性化事業	B	備前まつり事業	ソフト事業	3,500		3,021					
		ひなせ港祭り事業	ソフト事業	3,500		3,018					
		まほろばウォーク事業	ソフト事業	2,098		2,141					
		海上綱引き大会事業	ソフト事業	699	8,991	549	8,079				
		カップリングパーティー事業	ソフト事業	256		334					
		備前鯖祭補助事業	ソフト事業	4,400		1,300					
		サマーフェスティバル補助事業	ソフト事業	1,215		1,215					
		地域まつり補助事業	ソフト事業	2,285		2,208					
3 商業団体支援事業	C	備前商工会議所補助事業	ソフト事業	11,858		11,590					
		備前東商工会補助事業	ソフト事業	20,731	2,491	19,200	2,093				
		備前焼陶友会補助事業	ソフト事業	405		405					

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	66,723	58,448	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

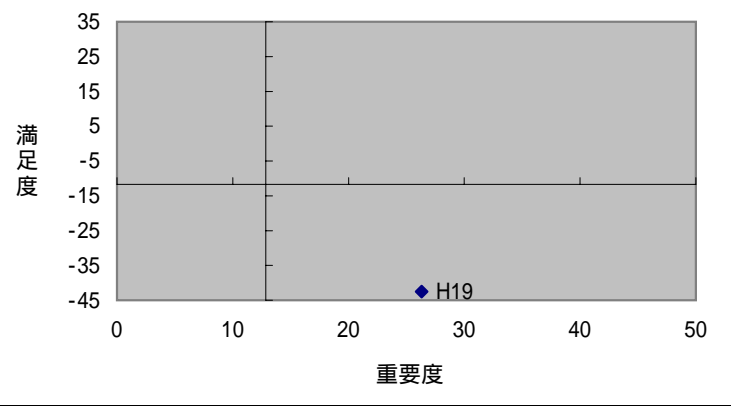
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
商工観光課	アルファビゼンの再建	商店街の活性化のキーポイントとなる
商工観光課	商工会議所・商工会等関係団体と連携を図り、諸施策を検討する	関係団体との情報交換が重要

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	2	現状では、商工会議所とも協議するものの、手つかずの状態です。	2	施設成果指標のメニューの幅を広げる。
2 事業構成の適当性	3	市の中心部の活性化には、核となる集客力のあるものが重要と考える。旧アルファビゼンの再生、そして賑わいは市民の願いであり必要である。	3	旧アルファビゼンの方向性を早急に決定するよう努力しなければならない。
3 施策の有効性	4	商業の活性化は、市民生活を豊かにし、魅力的な街づくりにつながる事から、さらなる施策の展開が求められ、早急な対応が必要である。	3	商業の先進地視察を行い、行政としてできるメニューを探したらどうか。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	商工会議所、商工会との連携を密にすること。国、県の補助制度の確認。		市の中心市街地である旧アルファビゼンの再生するための方策を、早急に解決することを最優先に取り組む必要あり。	
二次評価者コメント	まつり関係を統合するとともに、補助金関係全体の見直しを図り、予算減に向けて努力を要する。			平成20年度 予算の方向性 前年度並みの配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	26.3		
満足度(%)	-42.5		



調査結果に対するコメント、市民の反応等  
 市の中心市街地である片上商店街については、アルファビゼンの閉鎖以来衰退が著しく、閉店や空き店舗が目立つ状態になっている。こうしたことから、商業施設の充実を求める意見が多く、市内全域においても、商業の活性化を求める声が多い。市民皆様に直結した問題であることから、関係機関と連携を図りながら、改善に努めたい。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 地域振興活性化による集客数	目標	人	180,000.0	180,000.0			各イベントの集客数の合計
	実績	人	150,000.0	169,000.0			
	達成率	%	83.3	93.9			
2 経営相談回数(商店の体質強化)	目標	回	6,000.0	6,000.0	7,000		会議所、商工会で受けた回数
	実績	回	5,670.0	6,213.0			
	達成率	%	94.5	103.6			
3 事業所数の推移	目標	所	800.0	800.0	800		商業統計調査の商店数(H14、16年度の比較)
	実績	所	747.0	727.0			
	達成率	%	93.4	90.9			
4	目標						
	実績						
	達成率	%					